

米



兵庫県 (株)神明

『国産米をアジア、EU、豪州へ』

【主な品目】

米、無菌米飯、乾麺

【主な輸出先国・地域】

アジア(香港、中国、台湾、シンガポール、タイ)、EU、豪州

【輸出取組の概要】

- ◆ アジア、EU、豪州を中心に、精米、無菌米飯、乾麺を輸出。
- ◆ 検疫条件の厳しい中国に対しては、平成29年1月に中国向けの日本産精米の輸出を開始し、北京、上海、成都の日系小売店や百貨店において販売。

【輸出実績】(平成20年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	74,074	3,097	通年
平成28年度	62,946	2,924	
平成27年度	49,216	2,334	

【効果があった取組】

輸出先の気候に合わせた米袋(脱気包装袋)の使用による品質保持や、寿司用の無菌包装米飯(PB商品)の提案など。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 日本産米の海外での認知度の不足。
- ・ 中国へ精米の輸出を行うには、中国側が指定した精米工場で精米処理し、指定したくん蒸倉庫でくん蒸処理を受けるなど、厳しい条件が課せられている。

【生じた課題への対応】

- ・ 香港フードエキスポや日本の食品輸出エキスポなど国内外の展示・商談会に出展するとともに、海外で試食会を開催してPRを実施。
- ・ 神明グループの精米工場((株)神明きっちん阪神工場)が中国政府から指定登録施設として平成30年5月に認可を受けた。



中国における精米販売

【対応の結果】

- ・ 日本産米の輸出先の認知度が高まり、日本食ブームを背景に数量を伸ばし、29年度は香港、豪州、米国、中国を中心に、年間3,000t超の輸出にまで拡大。
- ・ 中国向けの米の輸出拠点が拡大したことを受け、平成30年7月に中国向けの日本産米の輸出を本格化し、富裕層向けに販売。



(株)神明きっちん阪神工場 (FSSC22000及びOHSAS18001を取得)

【今後の課題・展望】

- ・ 中国向けの日本産米の輸出の拡大と新たな輸出先国の開拓。
- ・ 多収米の振興や生産・流通コスト低減など、海外での価格競争力強化が必要。
- ・ 生産者が輸出米を生産しやすい制度設計や、プロモーション活動が必要。

【活用した支援・施策】コメ海外市場拡大戦略プロジェクト、(一社)全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会

【ウェブサイト】 <https://www.akafuji.co.jp/>

【連絡先】 担当者:若尾聡、TEL: 03-3666-3503